

令和5年度 外部評価シート

施設名	Life partner Arena(総合体育館)	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	ひょうごスポーツライフグループ	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和2年～5年)

評価項目	評価
維持管理業務	開設後 35 年以上経過しているが、清掃が行き届いており、明るく清潔な雰囲気が維持されている。照明の明度に差があるものの、利用者にとっては不自由のない程度である。 施設内の草刈りや高木についても、管理が行き届いている。
運営業務	講座内容について、一覧をみると「一般男女」対象の講座が多く、子ども向け講座が少なく感じる。子ども向けの講座を増設するなど、更なる利用者数の増加に向けて工夫の余地がある。 一方、アンケートによると、講座について、友人や知人からの紹介率が増えていることから、年々利用者の満足度が向上していると評価できる。
利用状況	ポストコロナ禍において、利用者も増加傾向がみられ、コロナ以前に戻りつつある。実際、トレーニングルームでは、平日昼間に年配の方も若い方も利用があり、施設のスペースは限られているため、将来的にどのような年齢層に利用を働きかけるか検討が必要。 また、周辺施設で、営業時間を延長することで若年層の集客が上がった実例があるため、学校や仕事終わりなどの時間帯まで閉館時間を延ばすなど、考慮の余地あり。 さらに、防災などをからめ、新しい観点の自主事業などを取り組み、地域の方を呼び込むのはどうか。
収支状況	ポストコロナの利用者増にともない、収入においても改善の可能性は高いと思われる。照明の LED 化など、経費節減に努めており、今後も継続して取り組んで欲しい。
運営体制	トライやる・ウィークの受け入れも行っており、安全について研修を実施するなど、日頃より危機管理体制の確保ができています。 アンケートからも、接客に対する回答が「満足」「やや満足」と合わせて 98%となっており、スタッフの対応について評価できる。引き続き、利用者の声を大切に取り組みで欲しい。 さらに、人事管理をスムーズに行い、スタッフに無理がかからない体制づくりに努めて貰いたい。
その他	アンケート結果を有効に使うため、年度ごとの変化理由を明確にし、備品や設備改修の優先順位の検討材料とするなど、工夫の余地あり。

2 残りの指定期間における改善点

最終年度でコロナ前までの利用者増加を目指し、利用者の声を収集するなど、ニーズに合わせた運営が求められる。また、利用者数や利用率向上のため、施設利用や講座情報など効果的な情報発信に向けた取り組みが求められる。
あわせて、県立施設として、現状にとらわれず先駆的・先導的なイベントや講座の実現にむけ検討してもらいたい。

3 次期公募に向けた検討課題等

アフターコロナにおいて体重増加・体力低下やストレス増加傾向にある人々に対する講座やイベントの開催を行うなど、利用者の集客率を上げる工夫が求められる。
また、大会等のオンライン配信を行うことで、当施設を知らない方にもPRするなど、WEB予約・SNS活用など環境の変化に応じた情報発信とオフラインでのイベント・コミュニケーションの融合が今後求められる。

(参考) 県立健康増進施設外部評価及び指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
山口 泰雄	神戸大学名誉教授	委員長
宇田 名保美	中小企業診断士	
太田 はるよ	兵庫県子ども会連合会副理事長	
高見 彰	関西国際大学経営学部経営学科教授	
長谷川 つち代	兵庫県スポーツ推進委員会代表理事	